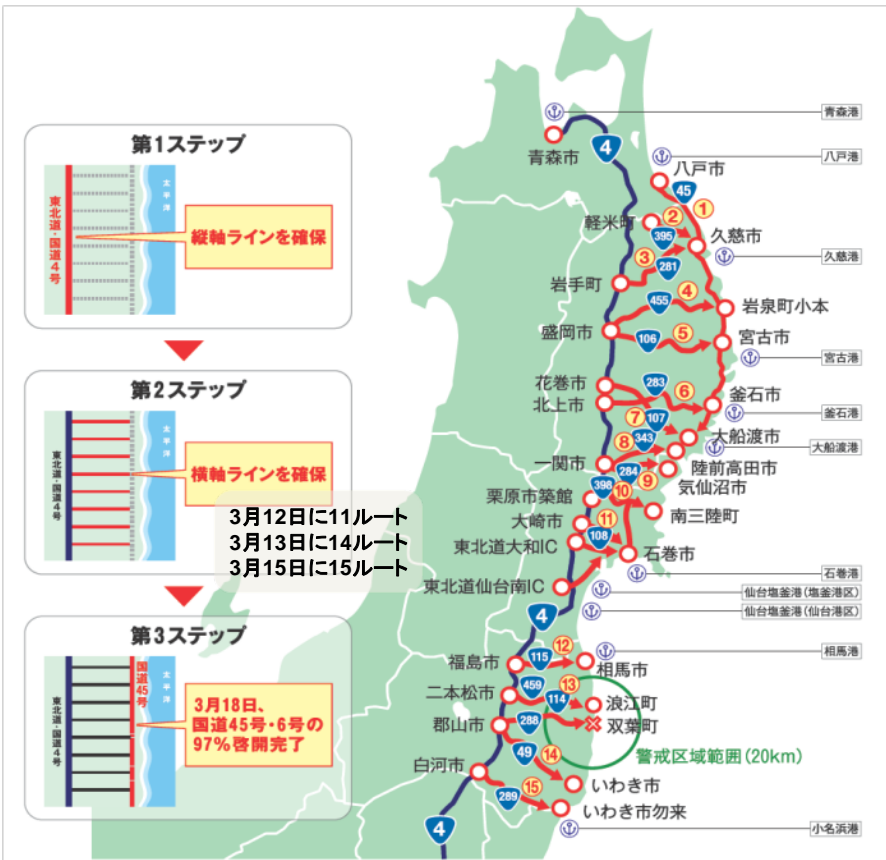


【職域】 国土交通省東北地方整備局「くしの歯作戦啓開チーム」

『くしの歯作戦』 ～命の道を切り開く～

津波で多くの被災者の発生が想定される沿岸部へ進出するため、内陸部の東北道・国道4号から東西方向の「くしの歯型」の国道による救命・救援ルートの確保を計画。2日間で11ルートの横軸ラインを通行可能に。



【職域】 国土交通省東北地方整備局「航路啓開チーム」

『航路啓開』～被災地への供給ルートを切り開く～

津波から生き残った地元4船団を優先啓開港に投入し、津波注意報解除の翌朝(3月14日)から航路啓開を開始。全国から集めた船団も順次各港に投入。3月23日までに主要9港全てが接岸可能に。



Port	3/14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
八戸港	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey
久慈港	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey
宮古港	Red	Blue	Green	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue
釜石港	Red	Green	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue
大船渡港	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Red	Blue	Green	Blue
石巻港	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Red	Blue	Green	Blue
仙台塩釜港 (塩釜港区)	Grey	Grey	Red	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue
仙台塩釜港 (仙台港区)	Red	Blue	Blue	Blue	Green	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue
相馬港	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey
小名浜港	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey	Grey

【凡例】 ■ 航路啓開着手 ■ 航行規制解除
 ※測量により水深を確認し、航路啓開前に航行規制を解除。



津波襲来 釜石港湾事務所より



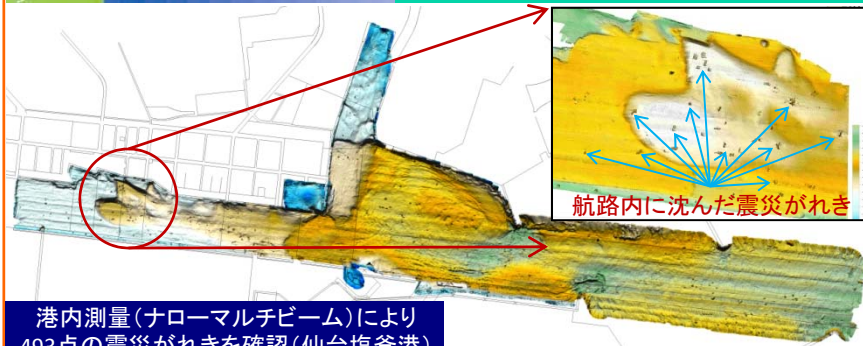
家屋の除去(釜石港)



自動車の除去(仙台塩釜港)



流出した木材の除去(石巻港)



塩釜港にタンカー 食品など西日本の工場フル稼働

ガolinなど燃料を積み、宮城県の塩釜港に到着したタンカー(21日午前、宮城県塩釜市)

供給回復の動き加速

東北地方の被災地では、燃料不足が深刻な状況にある。宮城県塩釜港にタンカーが到着し、燃料供給が再開された。これは、被災地の工場がフル稼働できるようになり、被災地の復興に大きく貢献する見込みだ。

東北地方の被災地では、燃料不足が深刻な状況にある。宮城県塩釜港にタンカーが到着し、燃料供給が再開された。これは、被災地の工場がフル稼働できるようになり、被災地の復興に大きく貢献する見込みだ。

東北地方の被災地では、燃料不足が深刻な状況にある。宮城県塩釜港にタンカーが到着し、燃料供給が再開された。これは、被災地の工場がフル稼働できるようになり、被災地の復興に大きく貢献する見込みだ。



航路啓開の結果、優先啓開港の一つとした釜石港に物資が到着(船舶は中部地方整備局保有の清龍丸)

東奥日報(23年3月22日)

東北地方の被災地では、燃料不足が深刻な状況にある。宮城県塩釜港にタンカーが到着し、燃料供給が再開された。これは、被災地の工場がフル稼働できるようになり、被災地の復興に大きく貢献する見込みだ。

東北地方の被災地では、燃料不足が深刻な状況にある。宮城県塩釜港にタンカーが到着し、燃料供給が再開された。これは、被災地の工場がフル稼働できるようになり、被災地の復興に大きく貢献する見込みだ。